

ごんだけ通信

■自らの価値観(=美意識)で未来を描く■

前回号では、自分自身を“1本の木（バリューツリー）”に例えて「価値（もののねうち）」と「価値観（もののみかた）」の視点から「自分軸」と「周囲軸」を発見してみよう、というテーマでした。

今回は社長さんに実際に価値観抽出作業をしていただき、抽出した価値観を5つにタイプ分けした後に、3&4月号に登場した『経営デザインシート』にフィードバックしていきます（実際は、ワークショップ形式の実践に近いものになります）。

令和4年

9&10月号

No.65



経営を、自らの価値観をもとにデザインする（Part.4）

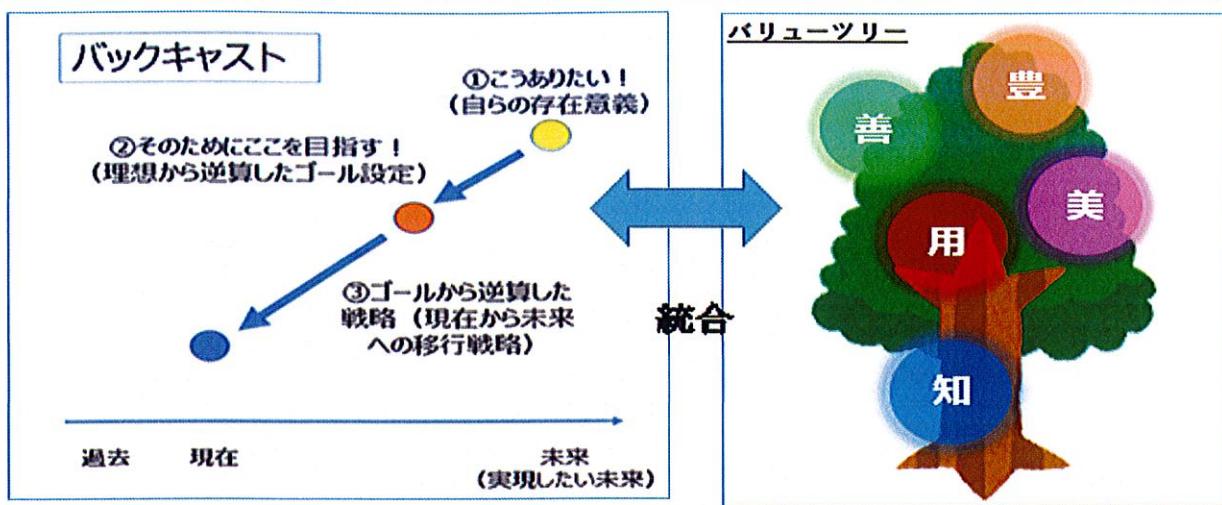
—価値観の構造から、本当の“やりがい”を見つける—

① 前回号のおさらい(自分軸の方向性)

5&6月号、7&8月号では、「価値観」をA.価値（もののねうち）とB.価値観（もののみかた）に分けて、Aを「知」「善」「美」「用」「豊」の5つのタイプに、Bは価値観の持ち主の類型として 理解人・納得人 共感人・共有人 審美人・表現人 機能人・供用人 消費（所有）人・蒐集（収集）人に分類しました。

そして自分自身を“一本の木（バリューツリー）”に例えて、自分の根や幹である「中心軸」と、枝葉の価値観である「周囲軸」を発見して “自分らしいやりがい”を感じてみようというテーマでした。

今回号では、3&4月号で取り上げた『経営デザインシート』とこれらを統合し、経営を、自らの価値観をもとにデザインしていきます。



② 自分の“掘り起こし”ワーク①<リストアップ>

今回号の“価値観掘り起こしワーク”は、実践編ですので、ぜひ、お手もとにフセンをご用意ください。以下の質問を考えながら「やりたいこと100個」を挙げます。

- (1) 子どもの頃の夢や大好きだったことは何ですか？<根っこや幹の部分>
- (2) 今までの人生で自分自身の転機となった出来事は何ですか？<根っこや幹の部分>
- (3) 学生の頃に学んだことや印象に残ったこととは？<枝葉の部分>
- (4) 社会人になってから、学んだことや感銘を受けたことは？<枝葉の部分>

「やりたいこと100個」は、フセン1枚につき一つのやりたいことをできるだけ具体的に書きます。

なるべく環境の静かなところでリラックスしながら書いてみることをおススメします♪最初の10個ほどの書き出しあは大変ですが、流れができるとどんどんひらめきますよ♪♪



③ 自分の“掘り起こし”ワーク②<仕分け作業>

「やりたいこと100個」を書き終わったら、次のようにグルーピングします。

- i. まずは、消費や蒐集（購入）（単純に欲しいもの）に関するものをピックアップ
- ii. “自分で何かができるもの”をピックアップ
- iii. “誰か（社員など）と何かしたいもの”をピックアップ
- iv. “自分以外のもののために何かしたいもの”をピックアップ

例.

アメリカに行って大谷選手を応援したい（⇒一人で何かしたい）

彼女と古民家カフェに行ってのんびりしたい（⇒誰かと何かしたい）

日本の伝統文化や歴史を海外の人に伝えたい（⇒自分以外の何か）など

次に、価値（もののねうち）の5分類「知」「善」「美」「機」「豊」のどれに当てはまるかを考えて、「自分軸」を探ります。

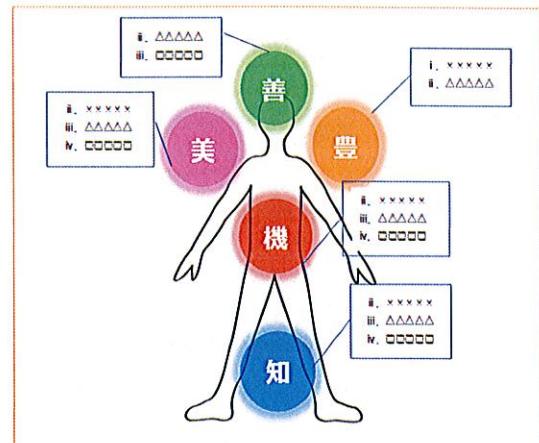
（※「用」を「機」に変更しています。また、「豊」には他人を（直接的に）楽しませる「樂」を含めます）

ちなみに、i. は「豊」に、iv. は「善」に該当することが多いです。
前回号でも述べましたが、「知」は**知的好奇心**、「善」は**人間の良心の発露**を表し、「美」は**人間の創造性と想像力の対象としての“美”**、「用」は**“世のため人のために”役に立つこと**、「豊」は**物心両面での豊かさ** を意味しましたね。

また、『やりがいの構造』の著者の西岡文彦氏は、5つの価値のイメージをこのように表現していました。こちらをイメージしながら、5分類の仕分け作業にトライしてみてください。

「知」は導き、 「善」は救い、 「美」は慰め、 「用（機）」は助け、 「豊」は潤す

ちなみに、
「理解人・納得人」とは、“**教え導く人**”、
「共感人・共有人」とは、“**手を差し伸べて救う人**”
「審美人・表現人」とは、“**美に癒しを追求する人**”、
「機能人・供用人」は、“**貢献、支援する人**”、
「消費者・蒐集人」は、“**豊かさを楽しむ人**”
と言い換えることができます。自分自身のタイプ（自分の中心軸）が次第に明らかになってきたかと思います。



もちろん、価値（もののねうち）の5分類「知」「善」「美」「機」「豊」を構成した価値観でもOKです。

④ 自分（自社）の価値”掘り起こし”ワーク③<キーワードを書き出す>

さて、ここからは、少しずつ『経営デザインシート』にアプローチしていきます。フセンの記入した内容から、キーワードを抽出していきます（下記の抽出キーワード例参考）。なぜ、それを書いたのかの理由や動機を考えるのがポイント！

そして、③のiii.“社員や仕事のパートナーたちと何かをしたい”と書いたフセンについては、社員とシェアしてキーワードを抽出しても結構です。

キーワードを集めたら、そこから次のような文書を作ります。まさにココが真骨頂ですね！

私（たち）は、「〇〇〇〇〇〇」（=価値）を大事にする
「〇〇〇〇〇〇」（=行動→目的）をする人（会社）です。

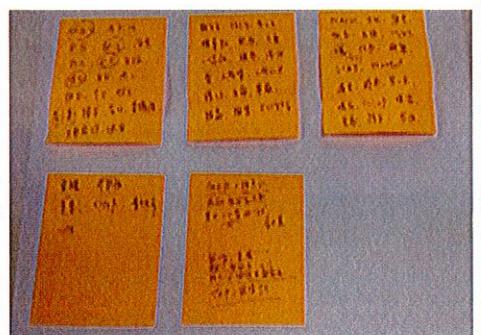
伍

私（たち）は、「遊び心」を大事にする「社会課題を解決するデザイン」をする会社（人）です。
私（たち）は、発見した原石を新たな価値として、世の中に発信する人（会社）です。

※抽出キーワードの例

情熱、発見、研究、ベスト、冒険、到達、統合、支援、つながり、築く、成長、前進、進化、深化、感性、未来、未知、創造、想像、ひらめく、発見、縁結び、表現、創意、洗練、本物、観察、共感、共鳴、計画、奉仕、独創、独自性、潜在、編集、探求、追求、方向、可能性、改善、改良、洞察、卓越、首位、鍛錬、遭遇、描写、言語化、構造化、魅力、学ぶ、自己対話、充実、実現、包容、授与、軽やか、アイデア、デザイン、バランス、オリジナリティ、サポート、セルフマネジメント、フィロソフィ、パフォーマンス、フォーカス、クラシック、インサイト、遊び心、純真、感謝される、喜ばれる、愛される、尊敬される、理解される、信頼される、問題を解決する、圧倒する

(キーワード抽出の様子)



⑤『経営デザインシート』に埋め込む

